藤沢

平成22年１月４日　　第278号
〔発行〕 神奈川労務安全衛生協会藤沢支部
支部長　三菱電機株式会社　鎌倉製作所
編　集　藤　沢　支　部　広　報　委　員　会
http://members2.jcom.home.ne.jp/aneikyo/

初日の出（江ノ島）　　写真撮影　日産工機㈱ 佐々木 豊氏

〔 平成２１年度　神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン 〕

支部活動を充実し
安心・安全・健康の職場づくりを推進しよう

年頭にあたって

神奈川労務安全衛生協会藤沢支部
支部長　六　丸　謙　司

藤沢支部会員の皆様方、新年あけまして、おめでとうございます。

新春に当たり、一言ご挨拶をさせて頂きたいと存じます。

さて、昨年の藤沢支部の活動を振り返ってみますと管内における支部別の安全競争において我が藤沢支部が見事優勝の栄冠に輝きました。これは偏に会員企業の皆様方の地道なご努力の賜物であり、敬意を表するとともに改めて厚く御礼を申し上げたいと思います。

また、このような立派な活動が出来ますことは長年にわたって藤沢支部の活動を支えて来られた諸先輩の大いなる財産によるものだと思います。我々現役としてもこの藤沢支部の歴史と伝統を引き継いで、これから先の世代にもバトンタッチして行きたいと思います。そういう意味で、今年も皆様方にご支援を頂きたいと思いますので、よろしくお願い致します。

また、昨年は藤沢支部から協会功労者表彰を６名の方が受賞されました。これもまた長年のご功労が評価されたものであり、藤沢支部の誇りでもあります。本当に、おめでとうございました。

昨年の藤沢支部のトピックスは以上のようなものでしたが、我々を取り巻く社会や経済の環境の方はどうも良いお話がなかなかなさそうです。私事で恐縮ですが、昨年の夏はボーナスがドーンと減って財布が軽くなり、更に年末のボーナスがドドドーンと減って財布を逆さまにしてもホコリしか出て来なくなってしまいました。何とかしたいんですが個人の力だけではどうしようもなく、せいぜい出費を抑えるしかありません。しかし、日本人がみんな同じような消費抑制に走ると景気は益々悪くなります。ここはやっぱり、政府の経済対策に期待するしかなさそうです。

我々が地道にやれることと言えば、その一つは労務安全衛生協会の仕事だということになりましょうか。広く世間の皆様方のお役に立てていることは事実ですし、やっただけの成果が出て来ることも事実です。世の中の景気がどうであれ、我々としては地味かも知れませんが、本協会の活動を通じて地元藤沢管内の労務安全衛生の更なるレベルアップに尽力したいと思います。そのためには会員企業の皆様方のご支援が不可欠ですので、今年もよろしくお願いします。

末尾になりましたが、景気が少しでも早く良くなって我々の財布が厚くなることと、会員企業各社様のご発展、そして会員各位の益々のご活躍を祈念致しまして新年に当たっての私のご挨拶とさせて頂きます。

賀詞交歓会のご案内

本年の賀詞交歓会は経営者セミナーと併せて開催されます。

開催日時：平成２２年１月１４日(木)
場　　所：藤沢産業センター（藤沢駅北口徒歩３分）
スケジュール：経営者セミナー　14：00～16：55　６階　研修室
　　賀詞交歓会　17：00～18：30　８階　情報ラウンジ
セミナー基調講演：神奈川労働局長　八田　雅弘 氏
特別講演講師：３Dラーニング・アソシエイツ代表　関島　康雄 氏
参 加 費：【経営者セミナーのみ：無料】、【賀詞交歓会：7,000円】

新年を迎えて

藤沢労働基準監督署
署長　中　村　宏　彰

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、労働基準行政に対し御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。

１年を振り返ってみますと、昨年は、世界的な経済危機の影響を受け、期間労働者や派遣労働者の解雇や労働条件の変更等の問題からスタートし、新型インフルエンザの感染拡大やその対応、環境問題の深刻化、政権交代による事業見直しなど何かと慌ただしい１年であったと感じております。

経済情勢については、デフレ状態が長期化し、最近の急激な円高により自動車などの輸出産業を中心として影響が出るのではないかと懸念されているところです。

このような中、新しい年を迎えたところですが、当署においては、労働条件の切り下げ、賃金未払や解雇などの申告、相談件数が高止まりの状態にあり、昨年の企業倒産等による未払賃金の立替払制度を適用した件数は、過去最多となったことから、引き続き法定労働条件遵守についての指導や多様な労働相談に適確に対応することといたします。

また、当署管内における昨年11月末現在の労働災害は、死亡災害は３件（前年同期比２件増）、休業４日以上の労働災害は、401件（同16.6％減）でした。

休業４日未満及び不休災害を含めた労働災害全体を減少させることが重要であると考えており、このためには、リスクアセスメントの実施とその内容の充実を図ることが重要であると考えています。

昨年も自殺者数が年間３万人を超え、12年連続して３万人を超えていることから、職場、地域、家庭における自殺予防、メンタルヘルス対策がますます重要となっています。

職場においては、心の健康づくり計画を作成、推進し、産業医や産業保健スタッフがその役割を十分に果たすことが出来る体制としていただくとともに、湘南地域産業保健センターや産業保健推進センターに設置されているメンタルヘルス対策支援センターを有効に活用されるようお願いします。

さらに、過労死等の長時間労働による脳・心臓疾患やパワハラ、セクハラ等による精神障害による労災申請等の事案が増加しており、労働時間の適正な管理、健康管理、職場内研修・教育の充実などの取り組みを引き続きお願いします。

本年４月１日から週60時間を超える時間外労働に対する割増賃金を25％から50％に引き上げることなどを内容とした改正労働基準法が施行されることにもご留意願います。

寅年の景気は、荒れるというジンクスがあるようですが、会員事業場の飛躍と労働者の安全・健康を祈念申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。

藤沢支部行事予定

○粉じん作業従事者特別教育	１月27日（水）	会場：藤沢市建設会館４階大会議室
○ＫＹＴ講習会	２月２日（火）	会場：藤沢市建設会館４階大会議室
○健康づくり研究会	２月４日（木）	会場：藤沢市建設会館４階大会議室
○職長教育	２月18日（木）･19日（金）	会場：藤沢市建設会館４階大会議室
○労務管理実務研修	２月23日（火）	会場：藤沢市建設会館４階大会議室
○フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育	２月26日（金）	会場：藤沢市建設会館４階大会議室
○新入社員等安全衛生教育	４月９日（金）	会場：藤沢市労働会館大ホール

安・健・快　雑感

『体を動かそう』

宮田工業株式会社
鈴　野　浩　史

この９月に健康指導を受けたところ、メタボ予備軍と診断されました。半年間で体重を６キログラム減らすことを目標に設定し、はや２ヶ月が過ぎました。お酒と食事の量を控えたところ、なんとか３キログラムは減りましたが、そこからなかなか先に進みません。いよいよ、これからは第二段階ということで、運動を積極的に行う必要があるかと考えています。

もともと体を動かすのは好きで、二十代の頃は山登りや、サイクリングで汗を流していました。しかし最近は忙しさを理由に、休みといえば家でごろごろしているうちに日が暮れていくという状態です。体を動かさない→体力がなくなる→以前のように体が動かないからおもしろくない→さらに体を動かさなくなる、という負のスパイラルに陥っておりました。ところが先日久しぶりにハイキングに出かけたところ、思いのほか体が良く動き、疲れや筋肉痛も残りませんでした。運動していないのに何でなんだろう、と考えたら、前述したように体重が減っていたことに気がつきました。たった３キログラムですが、その効果があったのだと実感しました。

これから寒くなっていきますが、丹沢などこの近辺の山はむしろ登りやすい時期になってきますし、スキーシーズンもやってきます。忙しさを理由にしないで、運動を続けながら、良い習慣を身につけて、なんとか３月までには、目標としていた減量６キログラムを達成したいと思います。

平成21年度 神奈川労務安全衛生協会 功労賞受賞、支部別安全競争優勝

平成21年10月15日（木）　於：箱根湯本富士屋ホテル

昨年10月開催の神奈川労務安全衛生大会にて、藤沢支部からは５名の方が功労賞を受賞され、本部推薦でいすゞ自動車㈱里川哲夫氏が受賞されました。又、支部別安全競争では、当支部が栄えある優勝で表彰されました。

≪写真：左から≫（敬称略）

- 蓮池　修　　明治乳業㈱神奈川工場
- 小宮　伸一　　日産工機㈱
- 飯島　則子　　シロキ工業㈱藤沢工場
- 平井　純一　　旭ファイバーグラス㈱湘南工場
- 鶴野　和良　　㈱東京ゴム製作所
- 若林　俊和　　東京応化工業㈱相模事業所

〈新明和工業㈱　山口　明〉

〔新規入会員紹介〕

●有限会社 南パッケージ	茅ヶ崎市小和田１－９－３	ダンボール製造
●有限会社 山田技工	茅ヶ崎市香川５－17－５	ポンプ修理等

〈編　集　後　記〉

今年は「寅年」です。虎を用いたことわざ・慣用句はたくさんあります。例えば、「門前の虎、後門の狼」「虎の威を借りる狐」「大虎になる」など、何れも「危険」「恐ろしい事」「乱暴」ということの例えが多いようです。また、虎の黄色と黒色は注意喚起などによく使われる色でもあります。今年一年、注意喚起が必要となるような災害が起こらないことを祈ります。

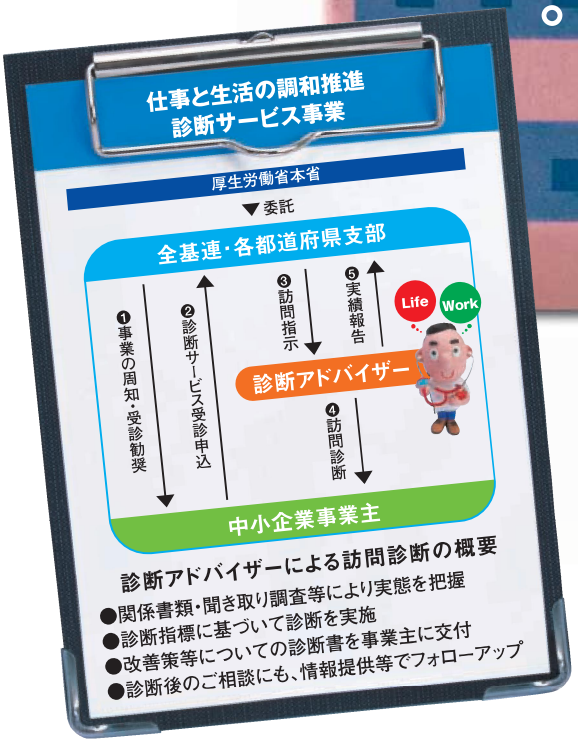
〈中外製薬㈱　橋本泰幸〉

ひとつ「働き方」を変えてみよう!
カエル!ジャパン
Change! JPN

仕事と生活のバランス、診断いたします。

診断無料

専門の
診断アドバイザーが
おうかがいします。



仕事と生活の調和のとれた、健康な職場づくりをお手伝い。

「仕事と生活の調和のとれた働き方」の実現に向けて、
プロの診断アドバイザーが皆さまの会社をご訪問。
労働時間などの労務管理上の問題点を診断するとともに、
その改善・適正化へ向けたアドバイスの提供などを通じて、
望まれる理想の職場環境づくりをお手伝いいたします。

仕事と生活の調和推進　診断サービス事業

厚生労働省　《平成21年度 厚生労働省委託事業》・企画運営/社団法人 全国労働基準関係団体連合会